【事業名】邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策事業
（群馬県館林市）　【団体名】邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会

平成30年度　生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙９－６

事業の背景・目的

サクラ等の生木に食入・加害することで衰弱させ、生態系に甚大な被害を及ぼす特定外来生物クビアカツヤカミキリの邑楽館林地域における防除を推進する。

事業の内容

フラス（木屑とフンが混ざったもの）を排出している幼虫は、翌年蛹化し成虫となるため、フラスを多量に排出している被害木は、その年度中に伐倒・処分することが、防除の観点から最も有効であるため、交付金事業として実施。

〇被害木の伐倒事業
【伐倒の要件】
以下の条件を満たす被害木について、協議会会員が確認を行ったうえで、伐倒を行う。
●複数の侵入孔からフラスが排出されている。
●手が届かない高さからフラスが排出されている。
●枝からフラスが排出されている。

（写真）伐採事業の様子

得られた成果

平成３０年度事業として、邑楽館林地域において、ネットや薬剤による防除が困難な被害木合計３２本の伐倒を行った。
被害木の大部分であるサクラは、公園や街路樹などに多く、地域住民に安らぎを与えたり、観光名所になっている場所もあることから、地域の生物多様性を保全するため、邑楽館林地域でのクビアカツヤカミキリ被害の沈静化を目指す。
被害の拡大防止のため、今後も被害木の伐倒事業を継続し、２年間で邑楽館林地域内の被害木８０本の伐倒を実施予定。